

令和元年度決算に係る

定期監査
決算審査

資料

令和2年7月

会計管理局 工事検査課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1	頁
	(1) 指摘事項		
	(2) 監査意見		
	(3) 決算審査意見		
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1	頁
3	職員の定員、現員調べ	1	頁
4	役付職員の調べ	1	頁
5	主な事業に関する調べ	2~3	頁
6	決算資料(総括表)	4	頁
7	事業別実施状況調べ	5	頁
8	予備費の充用調べ	5	頁
9	繰越関係調べ	5	頁
	(1) 継続費逐次繰越調べ		
	(2) 繰越明許費調べ		
	(3) 事故繰越調べ		
10	収入証紙取扱額調べ	5	頁
11	現金の取扱状況	5	頁
12	財産に関する調べ	5	頁
	(1) 公有財産		
	(2) 金券類の保有状況		
	(3) 基金		
	(4) 債権		
13	財産の貸付け及び使用許可調べ	5	頁
	(1) 土地及び建物		
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)		
14	借受不動産明細調べ	5	頁
15	職員駐車場の管理状況調べ.....	5	頁
	(1) 管理状況		
	(2) 減免の考え方		
	(3) 使用料の見直し		
16	寄附物件の受納状況調べ	5	頁
17	備品の処分状況調べ.....	5	頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	5	頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調		
	(2) 物品の照合		
19	貸付金等状況調べ	5	頁
	(1) 総括表		
	(2) 償還状況		
	意見、要望等.....	5	頁
	(1) 業務に関する要望等		
	(2) 監査委員事務局に対する意見・要望等		

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 該当なし

3 職員の定員、現員調べ

該当なし

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	
定 員			12	12			12	12	
現 員	()	()	()	()	()	()	()	()	
過不足()	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員							0	0	
非常勤職員				1			0	1	工事検査員1名

4 役付職員の調べ

(令和2年7月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考	
		年	月		
工事検査課	工事検査課長	林 親生	1	3	米子工事検査事務所検査専門員、米子工事検査事務所長兼検査専門員から引き続き4年3月
	総括検査専門員	梶川 晴近	2	3	
	検査専門員	末好 正名	2	3	
	検査専門員	原 雅人	0	3	
	検査専門員	西田 浩樹	0	3	米子工事検査事務所検査専門員から引き続き3年3月
	検査専門員	井上 嘉之	1	3	
	検査専門員	佐々木 寿	1	3	
	(兼)課長補佐	前場 大輔	0	3	会計指導課課長補佐
米子工事検査事務所	米子工事検査事務所長兼検査専門員	平尾 章	1	3	米子工事検査事務所検査専門員から引き続き3年3月
	検査専門員	前田 欣補	0	3	
	検査専門員	井殿 啓法	1	3	
	検査専門員	松本 和芳	0	3	
	課長補佐	稲田 成生	1	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
建設工事検査・評価事業	4,170	0	0	4,170
鳥取元気プロジェクト	-	-	-	-
元気づくり総合戦略	-	-	-	-

1 建設工事検査事業

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

建設工事の品質を確保するため、各事業所管課からの報告に基づき、県が行う建設工事(県工事)、県費補助に係る建設工事(県費補助工事)及び市町村等から委託を受けた建設工事(市町村等工事)の検査を行うと共に、県が行う工事については原則として成績評定を行う。

(イ) 事業の実施状況

当初請負対象設計金額が1,500万円以上(建築・設備工事にあつては1,000万円以上)の県工事、全ての県費補助工事及び市町村等工事の検査を専任検査員(工事検査課及び米子工事検査事務所の職員)が行い、また、それ以外の工事の検査を兼務検査員(本庁及び各総合事務所等の建設工事実施課の係長以上の職員)が行った。

なお、検査には次の3種類がある。

- ・中間検査…工事の適正な執行を確保するために行う検査
- ・完成検査…工事の完成を確認するために行う検査(指定部分の完成検査を含む)
- ・出来形検査…請負契約解除時において工事の出来形部分を確認するために行う検査

(1) 専任検査員検査件数(12名)

(単位:件)

区分		農林	土木	建築	設備	合計
県工事	中間検査	25	224	42	45	336
	完成検査	38	656	58	101	853
	出来形検査		1			1
県費補助工事	中間検査					0
	完成検査			2		2
	出来形検査					0
市町村等工事	中間検査		4	4	6	14
	完成検査		22	5	9	36
	出来形検査					0
合計	中間検査	25	228	46	51	350
	完成検査	38	678	65	110	891
	出来形検査	0	1	0	0	1
合計		63	907	111	161	1,242

()1,242件には、応援検査員(年度末の検査の集中時期に臨時的に任命する兼務検査員59名)による検査165件を含む。

(2) 兼務検査員検査件数(82名)

(単位:件)

区分		農林	土木	建築	設備	合計
県工事	完成検査	14	170	45	73	302
	出来形検査					0
市町村等工事	完成検査		1			1
	出来形検査					0
合計	完成検査	14	171	45	73	303
	出来形検査	0	0	0	0	0
合計		14	171	45	73	303

()中間検査は、当初請負設計対象金額が、2,000万円以上の工事について行うため、兼務検査員はこれを行わない。

(3) 検査による修補、手直し及び工事成績に対する不服申立

修補 (設計図書等との不適合)

農林	土木	建築	設備	計
				0件

手直し (軽微な設計図書等との不適合)

農林	土木	建築	設備	計
1件	9件			10件

不服申立 (成績評定に不満がある場合に受注者が行うもの)

農林	土木	建築	設備	計
	1件			1件

< 対応状況(結果) > 「申立ての一部を認め、工事成績の修正を行う。」とする対応措置について、鳥取県建設工事等入札・契約審議会に意見を聴いたところ、「適当である」との意見をいただき、それに従い修正した。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

工事成績評定要領について、加点項目の見直し、他の項目についても不明確な文言をより具体的な記載に改め、判断基準をより明確化させた。

例1 「施工体制」、「施工状況」の加点項目の見直し、文言の修正

加点項目（当該行為が他の模範となるほど質が高い場合に評価する）としていた項目を見直し、また、他の項目についても不明確な文言をより具体的な記載に改める。

(例) 様式土3-1 2 施工状況 安全対策 加点 の削除と文言修正

(現行) 7) 過積載防止に積極的に取り組んでいる。

(改正) 7) 過積載防止の取り組みが日常的に行われ、積載重量の確認や管理が適切である。

過積載を防止するための日常的な管理の例(参考) 取り組み事例を審査項目別運用表に追記した。

・土砂搬出において、土砂の単位体積重量を考慮した荷姿の計測をトラックスケールで確認し、これに基づき、日常的に各車両の荷姿等を管理している。

・各車両の自重計による重量の確認等を行い、日常的にダンプ自重(積み込み回数等)を管理している。など

例2 「出来ばえ」の評価項目をわかり易い表現に修正

出来ばえの評価項目のうち、施工後には外観が見えない、不可視部分のある工種(杭工事等)を評価する項目のうち、仕様書等で定められたとおりに作業をしていることが判る記録について、「施工状況写真」に重点を置き、品質管理資料の出来ばえと重複しないよう視点を絞り込む。(但し、写真管理基準で求められる必要最少限の写真で判断する。)

(例) 様式土3-6 3 出来形及び出来ばえ 出来ばえ(基礎工事、地すべり防止工事等)

(現行) 「施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。」

(改正) 「施工状況写真において不可視部分の仕上がりが良い。」

ウ 成果及び効果

工事成績評定要領の見直しにより判断基準がより明確化され、また、各種研修等により検査員の技術・技能を向上させることにより、検査の公平性の確保が図られた。

エ 課題

検査員間の評価視点及び経験等の違いによる成績評価のバラツキを極力少なくし評価の統一性を図るため、引き続き現場に即した判断基準等の見直しを実施していく必要がある。

2 公共事業評価事業

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

県が行う公共事業を鳥取県公共事業評価委員会に諮問し、客観的な評価を受けることにより、公共事業の効果的・効率的かつ適正な執行を図る。

(イ) 事業の実施状況

委員会開催4回、 答申1回

(単位:件)

区分	諮問	答申		
		継続・妥当	中止・妥当でない	継続審査・保留
事前評価	0			
再評価	2	2		

・事前評価: 新たに着手する事業計画の妥当性等について評価

・再評価: 着手後一定期間経過した事業の継続の適否等について評価

<対象事業>

・一般国道181号道路改築事業(江府道路)[江府町] ・一般国道178号道路改築事業(岩美道路)[岩美町]

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

評価対象事業への理解を深め、県民目線でもの判断していただくため、新たに以下の改善に取り組んだところである。

事業評価調書の改善

・委員に事前に読んでいただく事業評価調書に、きめ細かく具体的な内容を盛り込み、概要を把握することで、当日の評価に反映させ、より深く掘り下げた審議とした。

委員会資料の事前送付

・全配布資料を委員会開催1週間程度前に送付することで、各委員が内容を確認し、理解を深めていただいた。

チェックシートによる各委員意見聴取

・各委員に委員会での不明点、改善意見等を聴取し、次回委員会での説明内容等を改善した。

ウ 成果及び効果

・公開の場で県民の視点に立って評価することにより、事業の内容等について透明性・客観性の向上に寄与した。

・事業の必要性にかかる説明責任を果たすことについて、事業課職員の更なる意識改善が図られた。

エ 課題

特になし。

6 決算資料

一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予 算 額				決算額	決算額の内訳		翌年 繰越額	差引増減額	備考
		当初予算額	修正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	現 費 予備費 流出増減		計	本 庁			
歳	一般管理費	4,221,000	0	0	0	4,221,000	4,170,000	0	0	51,000	
出	合 計	4,221,000	0	0	0	4,221,000	4,170,000	0	0	51,000	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初予算額 A	補正予算額 B	支出済額 C	翌年度繰越額 D	差引残額 E=A+B-C-D	執行率 F=C/A	事業の計画と実績・成果・不用額・執行率
(一般管理費) (主)建設工事検査・評価事業	4,221,000	0	4,170,000	0	51,000	98.8%	主な事業に関する調べのとおり
目 計	4,221,000	0	4,170,000	0	51,000	98.8%	

8 予備費の充用調べ 該当なし

9 繰越関係調べ

- (1) 継続費遞次繰越調べ 該当なし
- (2) 繰越明許費調べ 該当なし
- (3) 事故繰越調べ 該当なし

10 収入証紙取扱額調べ 有・無

11 現金の取扱状況 有・無

12 財産に関する調べ

- (1) 公有財産 該当なし
- (2) 金券類の保有状況 該当なし
- ア 金券の保有状況 有・無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和2年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末	備考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 12	枚 0	枚 0 円	枚 12	工事検査課分

- (3) 基金 該当なし
- (4) 債権 該当なし

13 財産の貸付け及び使用許可調べ

- (1) 土地及び建物 該当なし
- (2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの) 該当なし

14 借受不動産明細調べ 該当なし

15 職員駐車場の管理状況調べ

- (1) 管理状況 該当なし
- (2) 減免の考え方 該当なし
- (3) 使用料の見直し 該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

17 備品の処分状況調べ 該当なし

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

- (1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 有・無
- (2) 物品の照合 有・無

19 貸付金等状況調べ

- (1) 総括表 該当なし
- (2) 償還状況 該当なし

意見、要望等

- (1) 業務に関する要望等 なし
- (2) 監査委員事務局に対する意見・要望等 なし